

# 社会保障法

笠木映里 = 嵩 さやか = 中野妙子 = 渡邊絹子

2018年12月発売 / 604頁 / 本体5000円 + 税  
A5判 / 並製



編集  
担当者  
から

本書は「総論」と「各論」に大きく分かれています。「各論」は社会保障法の各分野の紹介になっています。しかし、ここにも各冒頭に「総論」があります。これがこの本の最大のポイントです。単なる制度趣旨の解説にとどまらず、各分野がどのように法体系の中で位置づけられているかが明快に書かれています。各分野の総論だけでもそれぞれ読んでいただければ、社会保障法の法体系がよく理解できます。

さらに、目次や索引が詳細なので辞典のようにも使えます。そこには、「発展」の項目だけの目次があります。「発展」では社会保障法をめぐる現代的な問題や興味深い論点をコラム風にして解説しています。非常に盛りだくさんなのでここだけ拾い読みをしても十分勉強になります。

この本は何度も検討に検討を重ねた上で刊行されました。4人の執筆者がお互いの原稿にコメントをして、議論し、何度も修正しました。文字通りの「共著」です。また、検討会には東京大学の岩村正彦先生に毎回出席していただき、たいへん有益なコメントやご指摘、ご提案を数多くしていただき、それが本の内容に反映されています。(1)

Index



中身はとってもわかりやすく興味深い内容になっています。ぜひ手に取ってみてください。

## 第1編 総論

### 第1章 社会保障とは何か?

#### 第1節 社会保障の概念と意義

#### 第2節 社会保障の歩み

### 第2章 社会保障「法」とは何か?

#### 第1節 社会保障法の概念と意義

#### 第2節 憲法と社会保障法

#### 第3節 社会保障法の法源

#### 第4節 社会保障法の体系

## 第2編 各論

### 第3章 年金

### 第4章 医療

### 第5章 介護保険・社会福祉

### 第6章 労災

### 第7章 失業

### 第8章 生活保護